

高標高地の希少な湿原とブナの天然林

水無湿性植物 希少個体群保護林

設定目的

水無湿原には、ミズバショウ、リュウキンカ、コバイケイソウ、カタクリ、ヤマトリカブト等が見られ、周囲は林齢一〇〇年を超えるブナの天然林となっています。これらの希少な個体群の保護・管理をしています。

地況・林況

水無湿原は、富山・岐阜県境に跨る水無山（一、五〇六㍉）の西側に位置しており、標高一、四〇〇㍉前後の緩やかな傾斜地に南北に細長く広がっています。周囲はブナを主体とする広葉樹の天然林であり、ヨウラクツツジ等も見られます。

地元NPO等と連携し、湿原へのワイヤーメッシュの敷設などイノシシの被害対策が行われています。

所在地
富山県 南砺市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。

シリーズ

中部の保護林(第35回)